

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第58号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:大崎優

はじめに

高知県産学官民連携センター(ココプラ) 設立1周年記念イベント開催のお知らせ

高知県と県内の5高等教育機関が一同に介し、
県内の産学官民連携の推進等を行うココプラで、
開設一周年記念イベントが開催されます。

○開催日時

平成28年4月16日(土)13時~17時30分

○会場

高知県立大学・高知工科大学永国寺キャンパス
地域連携棟

○プログラム

【第一部】「ココプラ1年目の成果報告」

【第二部】「土佐MBAイントロダクションセミナー
& ガイダンス」

イントロダクションセミナー講師

グロービス経営大学院 学長 堀 義人 氏

【第三部】「シーズ・研究内容紹介ダイジェスト」

シーズ発表紹介では医学部より宮村充彦先生、
竹内啓晃先生、理学部より恩田歩武先生、農林海
洋科学部より上田忠治先生、市浦英明先生が発表
をされます。参加申し込み等、詳細については、下
記をご覧ください。

<http://www.kocopla.jp/info/dtl.php?ID=615>

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 高知人文社会科学会公開シンポジウム

~「魚梁瀬森林鉄道」を通じた地域再考と地域振興~

Topic2. 土佐 FBC 第 8 期生 修了式・成果報告会

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 競争的資金公募情報提供

装置と情報の共有化による研究開発の新展開
「ナノテクノロジープラットフォーム」

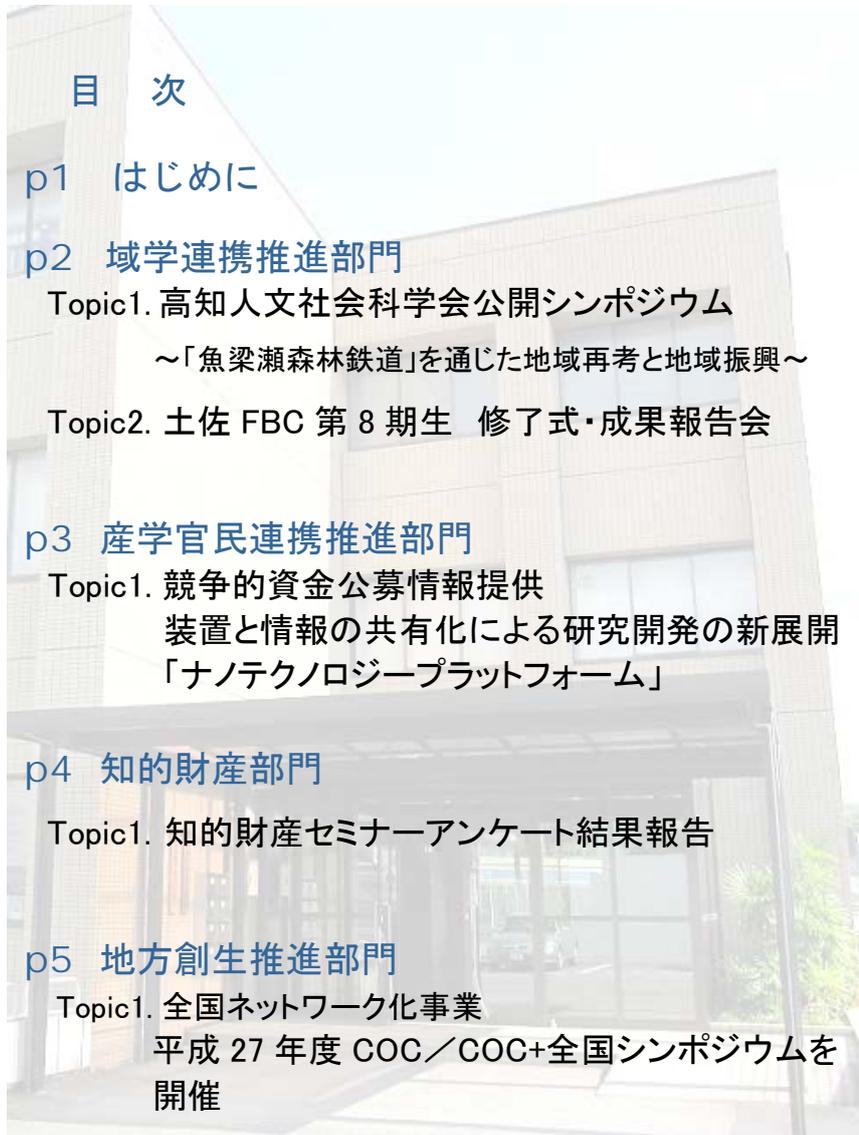
p4 知的財産部門

Topic1. 知的財産セミナーアンケート結果報告

p5 地方創生推進部門

Topic1. 全国ネットワーク化事業

平成27年度COC/COC+全国シンポジウムを
開催



Topic 1. 高知人文社会科学会公開シンポジウム ～「魚梁瀬森林鉄道」を通じた地域再考と地域振興～

本学人文学部を母体とした高知人文社会科学会による公開シンポジウム「魚梁瀬森林鉄道を通じた地域再考と地域振興」が、3月5日(土)、集落活動センターなかやま(高知県安芸郡安田町大字正弘 1538)にて開催されました。

基調講演 1 脇野 博 (岩手大学教育推進機構)

「日本における森林資源開発と森林鉄道の展開・衰退」

基調講演 2 赤池慎吾 (高知大学地域連携推進センター)

「固有林経営における魚梁瀬林業の位置づけ」

地域と関わる活動の報告 1 清岡博基

(中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会会長)

「魚梁瀬森林鉄道、保存・活用のこれまでの取り組み」

地域と関わる活動の報告 2 中村茂生

(安田町ふるさと応援隊)

「集落活動センターなかやまの魚梁瀬森林鉄道観光活用
拠点化に向けた試み」

地域と関わる活動の報告 3 岩佐光広 (高知大学人文学部)

「高知大学による魚梁瀬森林鉄道に関する調査について」

地域と関わる活動の報告 4 飯高伸五 (高知県立大学文化学部)

「林鉄遺構を活用したフィールドワーク教育 高知県立大学
文化学部による北川村での取り組みから」

約140名の来場者と活発なディスカッションも行われ、地域において魚梁瀬森林鉄道が極めて重要な価値を有する歴史遺産であり、今後の調査研究への強い期待が述べられました。



Topic 2. 土佐 FBC 第 8 期生 修了式・成果報告会

3月10日(木)、平成20年度から開始した「土佐フードビジネスクリエイター人材創出(土佐 FBC)」の平成27年度修了式及び成果報告会が開催されました。今年度修了生として35名の第8期生が生まれ、更なる高知県の食品産業の振興のために活躍します。

修了式に引き続き、成果報告会が開催され、5名の修了生による成果発表と共に、基調講演として食農協創プロデューサーズの長谷川代表理事にご講演いただきました。



Topic 1. 競争的資金公募情報提供 装置と情報の共有化による研究開発の新展開 「ナノテクノロジープラットフォーム」

文部科学省ナノテクノロジープラットフォームについて

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業(NPJ)は、ナノテクノロジー研究開発に関わる全国25の大学・研究機関がネットワークを組み、その保有する最先端設備を広く外部共用に供するための一体的な運営体制を構築することにより、企業、大学、研究機関等の幅広い研究者・技術者に対して最先端設備の利用機会と高度な技術支援を提供する事業です。これらの先端的研究設備を一般の研究者・技術者等に広く利用いただくことを通じて、ナノテクノロジー・材料分野などでの領域を越えた新しい技術の創出や、産業界の課題解決につながる成果をもたらすことを目的としております。このため、①最先端の電子顕微鏡、放射光、強磁場NMRなど微細構造の解析手法、②金属・半導体・セラミックスなどへのナノレベルの微細な構造を造り込む微細加工技術、③新規の無機・有機材料の合成を支援する分子・物質合成の各分野で支援を行っています。

- ☑研究のアイデアはあるが、どう実施したらよいか分からない
- ☑研究の実施にリスクが伴うので、専門家と相談しながら進めたい
- ☑研究の行き詰まりを最先端装置の利用で打開したい
- ☑最先端装置の利用で効率的に研究成果を上げたい



ユーザー総合窓口

<http://nanonet.mext.go.jp/>

お電話でのお問合せ

029-859-2777

利用手順

課題の受付は機関によって随時、年に数回などの違いがあります。詳しくは、上記の電話番号またはホームページ URL よりお問い合わせください。

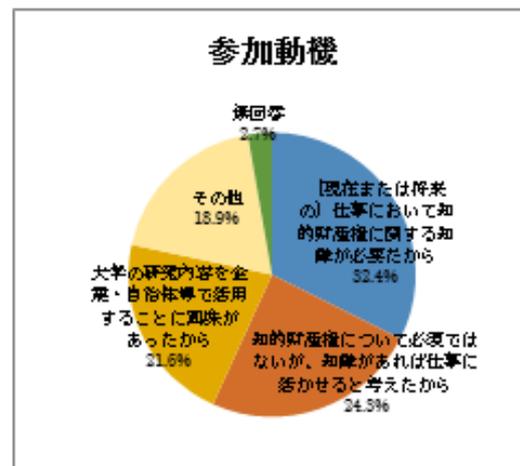
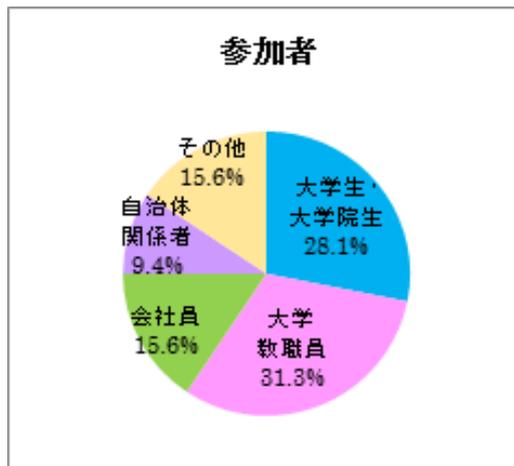


Topic 1. 知的財産セミナーアンケート結果報告

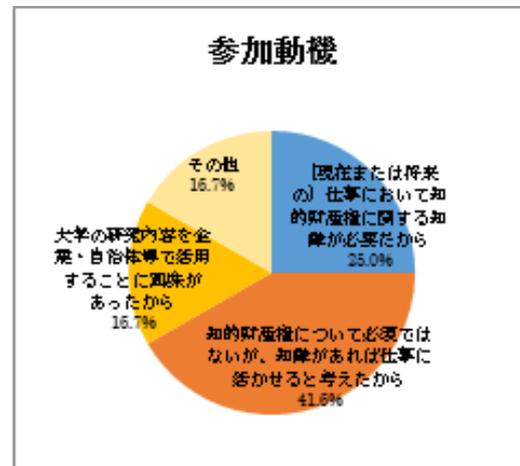
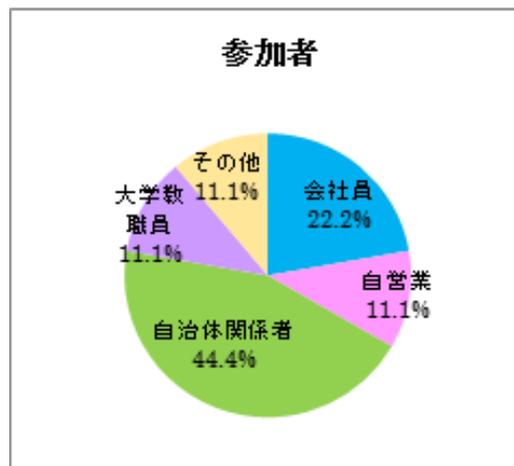
平成 27 年度は、高知市、本山町、四万十町の 3ヶ所で知的財産セミナーを開催しました。沢山の方に参加をいただき、ありがとうございました。アンケート集計結果の概略をお知らせします。

今後もアンケート結果を参考に、皆さまの役に立つより良いセミナーを開催していきます。

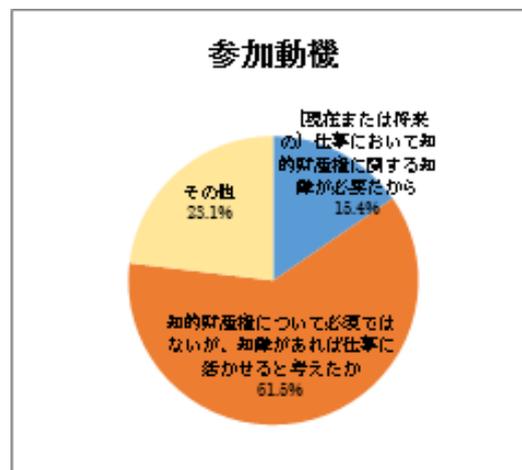
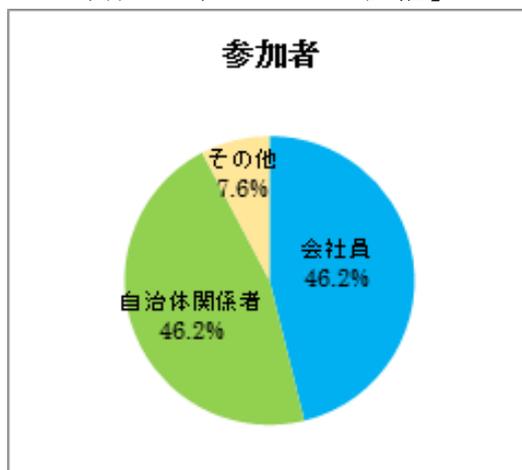
【高知市 平成 27 年 12 月 2 日開催】



【本山町 平成 27 年 12 月 21 日開催】



【四万十町 平成 28 年 2 月 18 日開催】



Topic 1. 全国ネットワーク化事業

平成 27 年度 COC/COC+ 全国シンポジウムを開催

平成 28 年 2 月 27 日（土）、28 日（日）、高知市内において、文部科学省が進める「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC/COC+）」にかかる全国の関係者が一堂に会す「全国ネットワーク化事業 平成 27 年度 COC/COC+全国シンポジウム『大学改革と機能別分化～地域における大学の存在意義の高まりと将来のあり方～』」を開催しました。

初日は、高知大学を含む 4 つの COC/COC+実施機関が事例報告を行い、会場と各報告者との間で熱心な質疑応答が交わされました。

2 日目は、文部科学省高等教育局大学振興課の塩見みづ枝課長より、馳浩文部科学大臣からのメッセージが読み上げられたほか、開催地を代表して尾崎正直高知県知事より挨拶がありました。明治大学農学部の小田切徳美教授による基調講演では、大きな政策課題である「地方創生」の実践において、多様な主体による参加と協働が不可欠である状況の中、地方創生の重要なプレイヤーである大学が果たすべき役割と実践的課題についてお話いただきました。その後、塩見課長から文部科学省の施策についてご説明いただきました。

後半は「まち」、「ひと」、「しごと」の 3 つの分科会に分かれ、COC/COC+実施機関、自治体、産業界等の各代表者をパネリストとして迎えたパネルディスカッションを行いました。最後に、分科会報告に対して小田切教授、塩見課長からコメントを頂戴し、2 日間にわたるシンポジウムは盛況のうちに閉会しました。

本シンポジウムには、大学関係者を中心に、自治体・企業等から 350 名を超す参加があり、また、全国の COC 採択機関 82 のうち 6 割を超す 54 機関が、COC+採択機関 42 のうち 7 割を超す 31 機関が参集するなど、COC/COC+全国ネットワーク化事業のさらなる発展への期待を強く感じさせるものとなりました。本学としましても、本シンポジウムの成果をもとに、今後も COC/COC+事業の充実に尽力してまいります。

<基調講演を行う小田切徳美氏>



<分科会の様子>

